

# 第1回多職種連携研修部会報告書

資料3

H30. 9. 28

日時	平成30年9月28日(金)19時～20時	
場所	高松市医師会館 2階大会議室	
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 大原部会長 ■ 林 委員 ■ 大橋委員 ■ 長内委員 □ 井下委員 ■ 永岡委員 □ 中村委員 ■ 古川委員	7人
事務局	高松市医師会事務局 山地係長、真鍋氏 高松市地域包括ケア推進室 徳重室長、香川室長補佐、長樂	5人
議題	1 平成30年度 多職種連携研修会の開催について 2 今後のスケジュールについて	
結果	1 平成30年度 多職種連携研修会の開催について (1) 目的 参加者が、医療職、介護職等それぞれの専門性を理解し、「顔の見える関係づくりを促進することで、多職種間のネットワーク構築を図る。 (2) 講師について テーマとして、認知症をやっていないので、認知症とまちづくりみたいなことはどうか。 在宅、認知症で、東京であれば、平原先生が有名であり、高松市にもほとんど来られていない。エンドオブケア学会を立ち上げられているし、来ていただくことはできる。 認知症の人と家族の会で講演されたことがある岡山の片山先生はどうか。 中村先生からは、東京都の健康長寿医療センターの栗田先生が新オレンジプランの立案とか実行の責任者で、認知症と共に暮らせる地域社会をつくる東京都の試みというテーマで、観音寺で講演したことがあるらしい。 遠藤先生は、以前にも来られたことがあるので、来年、かかりつけ医の時に呼び出さようと思っている。 できれば講演だけでなく、グループワークにも参加して、指導やアドバイスをいただける方がよい。ドクターでなくても、訪問看護や行政の方でも対応できる方であれば良いと思う。 昨年の講演で、理学療法士の教授、藤本先生の話が良かった。 (3) グループワークについて 講演を1時間やって、そのあとグループワークを行いたい。 前回、休憩時間を名刺交換の時間としたので、十分できなかった。 休憩時間とは別に15分から20分くらい、アイスブレイクとして取ってはどうか。 話し合う前に、名刺交換をする方が効果的だと思う。 グループは、地域で区切ってみてはどうか。 包括は8地区、初期集中は5班体制のため5グループにすることもできる。 各グループに認知症の認定看護師やサポート医に入ってもらいたい。 事例検討するのと、今後、地域でどうしていくかということを考えてもらいたい。 事例は実際のものでなくてもよい。中村先生に依頼してはどうか。 日本看護協会の認定看護師は、県内で香大1、日赤2、労災1、県中1の5人 (4) 実施日時:平成31年2月3日(日)13時00分～16時00分 決定した講師の都合により、変更あり (5) 場所:ホテルパールガーデン (6) 内容	

- ① 特別講演(60分)
- ② 休憩(10分)
- ③ その後、グループワーク
- ④ 人数150くらい(会場のキャパにより人数を決定、6人グループで25グループくらい)

(7) 今後のスケジュールについて

案内時期:平成30年12月20日頃

申込締切:平成31年1月20日頃(グループ分けに2週間ほど必要)

※次回の部会は、11月26日(月)